

安全の為に必ずお守りください

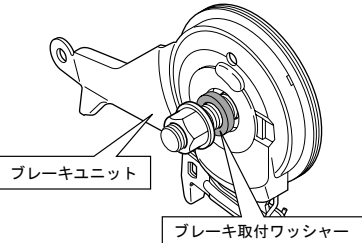
警告

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキ系統の適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキ系統の操作が適切でないと、自転車のコントロールを失い事故のもとになり、また大怪我を招くとも限りません。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- ブレーキアームをフレームに固定するときは、クリップボルトとクリップナットを指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。クリップナットは、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用してください。クリップボルト、クリップナット及びアームクリップはシマノ製をお勧めします。ブレーキアームのクリップナットが外れたり、クリップボルトまたはアームクリップが破損すると、ブレーキアームが回転し突然ハンドルがとられたり、車輪がロックして転倒し大怪我をすることがあります。
- 製品を取付ける時は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をする場合があります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

注意

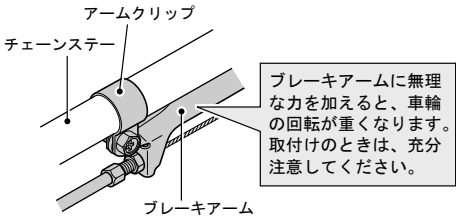
1. シマノインター M ブレーキシステムは、マウンテンバイクには使用できません。もし使用されますと、ハードなブレーキ操作によりブレーキ内部が高温になりブレーキの効きが弱くなったり、内部のグリスがなくなりブレーキの効きが急に強くなる等の異常が発生する場合があります。
2. 使用中、次のことが発生した場合には、即刻使用を中止し、販売店で点検・修理をしてください。
 - 1) ブレーキをかけたとき、音鳴りがした場合
 - 2) ブレーキの効きが異常に強すぎる場合
 - 3) ブレーキの効きが異常に弱すぎる場合1) と 2) の場合は、ブレーキグリスの不足が考えられますので、販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
3. シマノインター M ブレーキの性能を最大限に発揮させるため、必ずシマノブレーキケーブルとブレーキレバーをセットでご使用ください。

（ブレーキレバーを握ったときのインナーケーブルの引き代は 14.5mm 以上必要です。14.5mm 未満の場合は、ブレーキ性能が悪くなり、ブレーキが効かなくなることがあります。）
4. ブレーキユニットが、ハブ本体にブレーキ取付ナットまたはブレーキ取付ワッシャーで確実に固定されていることを確認してください。

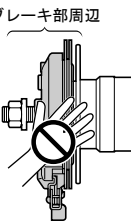


- ブレーキ取付ナットの場合：
締付トルク：
20 ～ 25 N・m {200 ～ 250 kgf・cm}
- ブレーキ取付ワッシャーの場合：
手で挿入

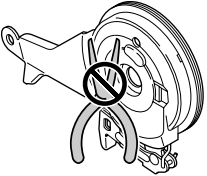
5. ブレーキアームが、アームクリップでチェーンステーションにしっかりと固定されていることを確認してください。取付け不良は、ブレーキ性能が悪くなります。



6. ブレーキをひんぱんに使用した場合、ブレーキ部周辺が高温になる場合があります。走行後しばらく（30分位）は、ブレーキ部周辺に手をふれないよう注意してください。



7. ブレーキケーブルがさびると、ブレーキの効が悪くなります。効が悪くなった時は、新しいシマノ純正ブレーキケーブルと交換し、再度ブレーキの効きを確認してください。
8. ブレーキユニットは分解できません。分解するとラブルや故障の原因になります。



使用上の注意

- インターMブレーキは、従来のバンドブレーキと異なり、ドラム内部にグリスが封入されているため、タイヤ回転がわずかに重くなっています。（特に冬期）
- 取扱い方法または調整方法について疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

SI-75A0A-002

BR-IM31-R
BR-IM35-RF インターMブレーキ

ご使用方法

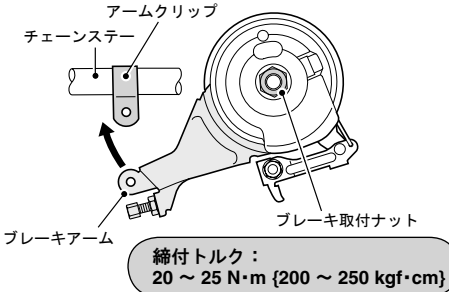
SHIMANO
NEXUS
INTER・M

インター M ブレーキの取付け

1. ハブ本体をフレームにセットした後、インター M ブレーキのブレーキアームを、アームクリップでチェーンステーションに取付け、クリップボルトとクリップナットを軽く締めて仮止めます。その後、ブレーキ取付ナットを締付けます。

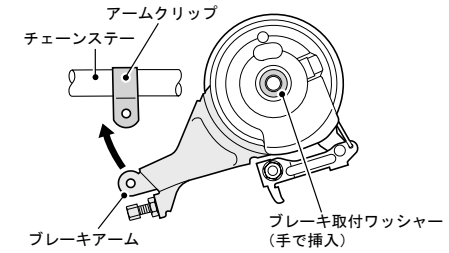
ご注意：

図のようにブレーキアームの位置がずれて、チェーンステーションに仮止めできないときは、ブレーキ取付ナットを一旦ゆるめてからブレーキアームを回し、チェーンステーションに仮止めます。その後、ブレーキ取付ナットを締付けます。

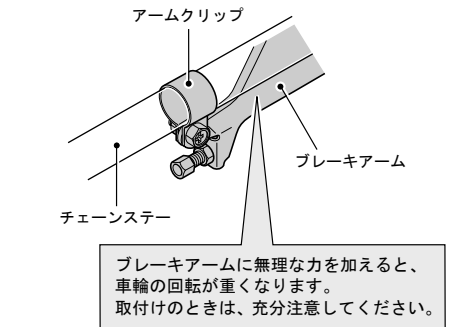


ご注意：

ブレーキ取付ナットの代わりにブレーキ取付ワッシャーを使用する場合は、ワッシャーをハブ軸に手で挿入して、ブレーキを固定します。



2. ハブ本体をフレームにハブナットで固定した後、インター M ブレーキのブレーキアームを、チェーンステーションにアームクリップで確実に固定します。

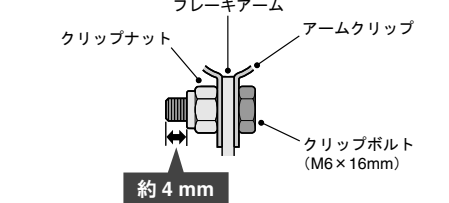


ご注意：

- アームクリップを取付けるときは、クリップナットを 10mm スパナで固定し、クリップボルトを確実に締付けてください。

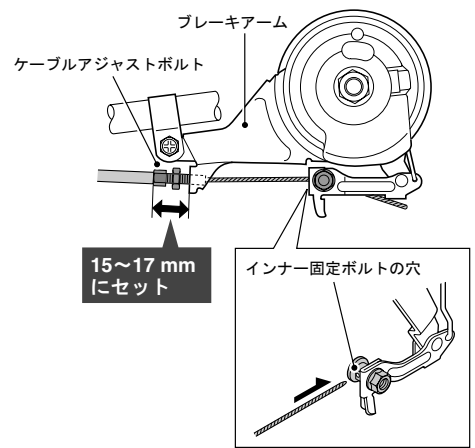
締付トルク：
2 ～ 3 N・m {20 ～ 30 kgf・cm}

- アームクリップを取付けた後、クリップボルトがクリップナットの端面から約 4mm 出ていることを確認してください。

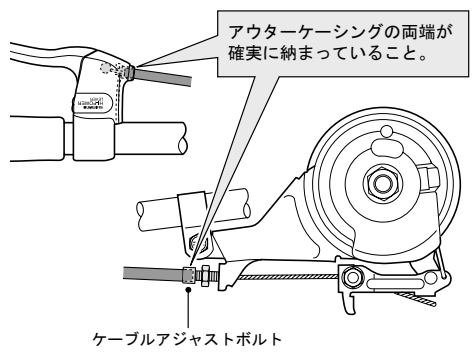


ブレーキケーブルの取付け

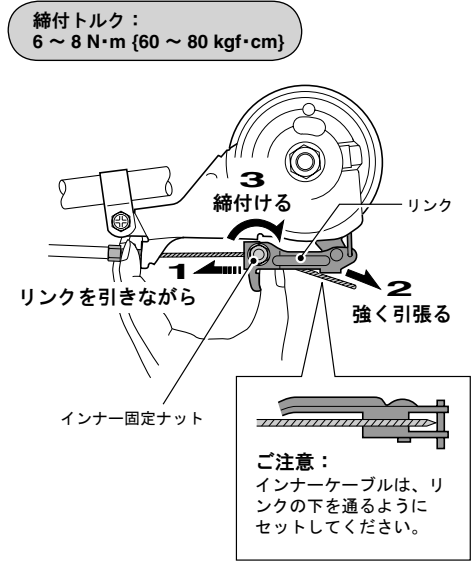
1. ケーブルアジャストボルトをブレーキアームの端面から 15 ～ 17mm の位置にセットし、インナーケーブルをケーブルアジャストボルトの穴から、インナー固定ボルトの穴に通します。



2. アウターケーシングの両端が、ブレーキレバー側とブレーキアーム側のケーブルアジャストボルトに確実に納まっていることを確認します。



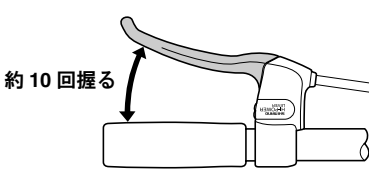
3. リンクを当りまで引き、インナーケーブルをいっぱい引張った状態で、インナー固定ナットを締付けます。



ご注意：
インナーケーブルは、リンクの下を通るようにセットしてください。

ブレーキケーブルの調整方法

1. ケーブルが張りぎみで、車輪の回転が重くなっていることを確認したあと、ブレーキレバーをグリップに付くまで、約 10 回ほど握り、ケーブルをなじませます。

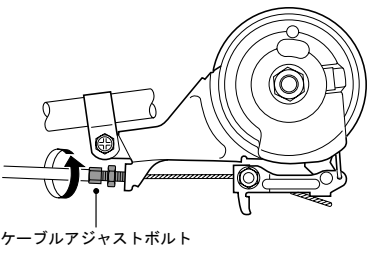
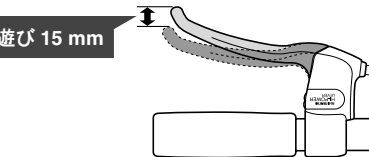


ご注意：

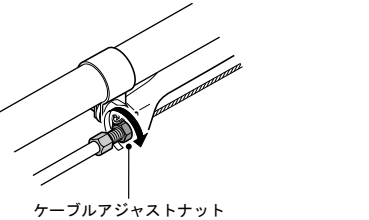
ケーブルがなじんでいないと、短期間で再度ブレーキの調整が必要になります。

2. ケーブルアジャストボルトを回して、ブレーキレバーの遊びが 15mm になるように調整します。

（ブレーキレバーの遊びとは、レバーを操作していない状態から、レバーを少し引いていくと、急に重くなる所までの引き代のことです。）



3. ブレーキレバーを握り、ブレーキの効きを確認したあと、ケーブルアジャストナットでケーブルアジャストボルトを固定します。



締付トルク：
1 ～ 2 N・m {10 ～ 20 kgf・cm}

この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。

※取扱い説明書は下記にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>

お客様相談窓口
☎ 0570-031961
Fax. 072-243-7847
株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577